



1. 化学品及び会社情報

重要な情報

*** この安全性データシートは、HP による HP 純正製品のみでの使用が許可されています。この安全性データシートを許可なく使用することは禁じられており、許可なく使用した場合、HP により、法的措置が講じられることがあります。***

化学品の名称 (製品名)

CB890Series

HP Japan Inc.

5F Ojima2-2-1 Koto-ku

Tokyo, Japan 136-8711

毒物情報センターの電話番号

0120-50-3024

電話番号

(+81) 3 5628-1101

HP Inc. 健康影響行

米国内通話料無料

1-800-457-4209

(直通)

1-760-710-0048

HP Inc. 顧客に対する注意事項行

米国内通話料無料

1-800-474-6836

(直通)

1-208-323-2551

電子メール

hpcustomer.inquiries@hp.com

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

インクジェット印刷

2. 危険有害性の要約

GHS分類

GHS分類基準に該当しない。

GHSラベル要素

記号

なし。

注意喚起語

なし。

危険有害性情報

なし。

注意書き

安全対策

なし。

応急措置

なし。

保管

なし。

廃棄

なし。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

本製品に関する詳細毒性データなし。

本製品への過剰暴露が起こる潜在的経路は、皮膚または眼による接触である。

蒸気の吸入および飲み込みは、通常の使用条件の下では本製品の重大な暴露経路であるとは予想されない。

カーボンブラックは IARCにより Group 2B 発がん物質 (発がん性がある可能性がある) として分類されています。本製品内のカーボンブラックは、その結合状態により、発がんの危険性は示しません。本製品内のその他の原料はいずれも ACGIH EU IARC MAK NTP または OSHA により発がん物質に分類されていません。

その他の情報

2-ピロリドン: 具体的な濃度限度、生殖毒性区分 1B、生殖能力または胎児 3%。混合物の分類しきい値は、動物での発達毒性に関連するデータに基づきます。動物を対象とした調査では、性機能への有害作用または生殖能力の損傷は確認されませんでした。セクション 11 を参照してください。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学物質

| 成分 | CAS番号 | 化審法 | 安衛法 | 含有量 (%) |
|-----------------|-----------|---------|---------|---------|
| 水 | 7732-18-5 | (9)-447 | | 70-80 |
| ヒドロキシ アルキル化ラクタム | 知的財産権 | 知的財産権 | 知的財産権 | <15 |
| ジオール置換体 | 知的財産権 | 知的財産権 | 知的財産権 | <7.5 |
| 修飾カーボンブラック11 | 知的財産権 | 知的財産権 | 知的財産権 | <5.0 |
| 2-ピロリドン | 616-45-5 | (5)-112 | (5)-112 | <3.0 |

化学式 H₂O (7732-18-5), C₄-H₇-N-O (616-45-5), C₄-H₇-N-O (616-45-5)

組成コメント このインクサプライには、水性インク製剤が含まれている。

カーボンブラックは本製品では結合状態でのみ存在している。2-ピロリドン: 具体的な濃度限度3%。混合物の分類しきい値は、動物での発達毒性に関連するデータに基づきます。動物を対象とした調査では、性機能への有害作用または生殖能力の損傷は確認されませんでした。セクション11を参照してください。

4. 応急措置

| | |
|-----------|---|
| 吸入した場合 | 新鮮な空気のところまで移動させること。刺激が残る場合は、医師の手当てを受けること。 |
| 皮膚に付着した場合 | 接触した部分を石鹸および水で洗うこと。刺激が残る場合は、医師の手当てを受けること。 |
| 目に入った場合 | 眼を擦らないこと。直ちに大量のきれいな温水(低水圧)で15分以上または粒子が洗い流されるまで洗浄すること。刺激が残る場合は、医師の手当てを受けること。 |
| 飲み込んだ場合 | 大量に摂取した場合は、医師の診断を受けること。 |

5. 火災時の措置

| | |
|-------------|-----------------|
| 消火剤 | 二酸化炭素、水、粉末、または泡 |
| 使ってはならない消火剤 | 未知 |
| 特定の消火方法 | 未設定 |

6. 漏出時の措置

| | |
|-----------------------|--|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | 適切な保護具を着用すること。 |
| 環境に対する注意事項 | 製品を排水溝に流さないでください。表流水や下水道へ流さないこと。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | 可能な場合は漏出物をせき止める。乾燥粘土、砂、けいそう土、商業用吸収剤などの不活性吸収剤を使って吸収するか、ポンプを使って回収してください。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

| | |
|-------------------|--|
| 取扱い | |
| 技術的対策(局所排気、全体換気等) | データなし。 |
| 安全取扱注意事項 | 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。 |
| 衛生措置 | 適切な産業衛生および安全に関する規定に従って取扱うこと。 |
| 保管 | |
| 安全な保管条件 | 子供の手の届かない場所に置いてください。過度の加熱あるいは冷却は避けること。 |
| 安全な容器包装材料 | データなし。 |

8. 暴露防止及び保護措置

| | |
|---------|------------------------------|
| 職業暴露限度 | 含有成分に関して暴露限界は設定されていない。 |
| 暴露指針 | 本製品に関する許容濃度は定められていない。 |
| 設備対策 | 十分に換気された場所で使用すること。 |
| 保護設備 | |
| 呼吸器の保護具 | データなし。 |
| 手の保護具 | データなし。 |
| 衛生措置 | 適切な産業衛生および安全に関する規定に従って取扱うこと。 |

保護設備

| | |
|------------|----------------------------------|
| 眼の保護具 | データなし。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 皮膚または眼への接触を最小限に抑えるために、保護具を用いること。 |

9. 物理的及び化学的性質

外観

| | |
|------------------|---|
| 物理的状態 | 液体。 |
| 色 | 黒色。 |
| 匂い | データなし。 |
| pH | 9.2 |
| 融点・凝固点 | データなし。 |
| 沸点、初留点、及び沸騰範囲 | 未測定 |
| 引火点 | > 110.0 °C (> 230.0 °F) Pensky-Martens密閉式 |
| 燃焼又は爆発範囲 | |
| 燃焼範囲の下限(%) | 未測定 |
| 燃焼範囲の上限(%) | データなし。 |
| 爆発下限界(%) | データなし。 |
| 爆発上限界(%) | データなし。 |
| 蒸気圧 | 未測定 |
| 蒸気密度 | > 1 (空気=1.0) |
| 蒸発速度 | 未測定 |
| 比重 | 1 - 1.1 |
| 溶解度 | |
| 水溶性 | 水に可溶 |
| n-オクタノール / 水分配係数 | データなし。 |
| 自然発火温度(発火点) | 未測定 |
| 分解温度 | データなし。 |
| 粘度(粘性率) | データなし。 |
| その他の情報 | |
| 酸化性 | 未測定 |
| 揮発物濃度 | 2.9 % 推定値 |
| VOC | < 240 g/l |

10. 安定性及び反応性

| | |
|-----------|---|
| 反応性 | データなし。 |
| 化学安定度 | 推奨する保存条件下では安定。 |
| 危険有害反応可能性 | 起こらない。 |
| 避けるべき条件 | なし。 |
| 混触危険物質 | 強アルカリおよび酸化剤とは配合禁忌。 |
| 危険な分解生成物 | 分解によりこの製品は、酸化窒素、一酸化炭素、二酸化炭素、低分子の炭化水素を発生することがある。フッ化水素, フッ化炭化水素 |

11. 有害性情報

急性毒性 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。

| 成分 | 種 | 試験結果 |
|------------------------|-----|--------------|
| 2-ピロリドン (CAS 616-45-5) | | |
| 急性 | | |
| 経口 | | |
| LD50 | ラット | > 5000 mg/kg |

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。
ウサギにおいて非刺激性(OECD 404)

| | |
|-------------------|---|
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。 OECD 405 による刺激物として分類されていません。 |
| 呼吸器または皮膚感作性 | |
| 呼吸器感作性 | 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。 |
| 皮膚感作性 | 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。 |
| 生殖細胞変異原性 | 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。 |
| 発癌性 | 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。 カーボンブラックはIARC (発がん性が疑われる、Group 2B) およびカリフォルニア州プロポジション65によって発がん物質として分類されている。 両組織はともにカーボンブラックの評価において、製品内 (特にゴム、インク、塗料において) での結合状態が維持されている限り、カーボンブラック自体の暴露は発生しないとしている。カーボンブラックは本製品では結合状態でのみ存在している。本製品内のその他の原料はいずれもACGIH EU IARC MAK NTPまたはOSHAにより発がん物質に分類されていません。 |
| 生殖毒性 | 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。 2-ピロリドン: この成分は、妊娠中の実験動物に有害な高濃度でのみ、発達への影響が確認されています (OECD 試験ガイドライン 414: 出生前発生毒性試験)。少量の摂取では、人体に発達毒性をもたらすことはないものと考えられます。この成分は、動物を対象とした調査では、性機能への有害作用または生殖能力の損傷は確認されませんでした (OECD 試験ガイドライン 443: 拡張一世代繁殖毒性試験)。 |
| 特定標的臓器毒性 (単回暴露) | 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。 |
| 特定標的臓器毒性 (反復暴露) | 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。 |
| 吸引性呼吸器有害性 | 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。 |
| その他の情報 | 本製品に関する詳細毒性データなし。 健康に及ぼす影響についてはセクション 2、応急措置についてはセクション 4 を参照。 |

12. 環境影響情報

水生生物毒性 水生生物に対して有害であるとは予想されない。

生態毒性データ

| 製品 | 種 | 試験結果 |
|------------------------|--------|--|
| CB890Series | | |
| 水生 | | |
| 急性 | | |
| 魚類 | LC50 | ファットヘッドミノー (Pimephales promelas) > 750 mg/l, 96 時間 |
| 成分 | 種 | 試験結果 |
| 2-ピロリドン (CAS 616-45-5) | | |
| 水生 | | |
| 甲殻類 | EC50 | ミジンコ (ダフニア プレクス) 13.21 mg/l, 48 時間 |
| 生態毒性 | データなし。 | |
| 残留性/分解性 | データなし。 | |
| 生体蓄積性 | データなし。 | |
| 生体内蓄積の可能性 | | |
| オクタノール / 水分配係数 log Kow | | |
| 2-ピロリドン | | -0.85 |
| 土壌中の移動性 | データなし。 | |
| オゾン層への有害性 | データなし。 | |

13. 廃棄上の注意

地域の廃棄規制

本物質を下水 / 水道供給経路に流入させてはならない。
廃棄物は地方自治体、州、連邦政府及びカナダの州の環境法令に従って廃棄してください。

HP Planet Partners (trademark) では、HP 製 Inkjet および LaserJet 関連製品などを簡単にリサイクルできるようにするリサイクルプログラムを提供しています。本サービスの詳細およびお客様のお住まいの地域で本サービスをご利用になれるかどうかについては、<http://www.hp.com/recycle> を参照してください。

14. 輸送上の注意

DOT

| | |
|----------------|--------|
| 国連番号 | データなし。 |
| UN正式輸送品目名 | 該当せず |
| 輸送危険有害性クラス | |
| クラス(Class) | データなし。 |
| 副次危険性 | - |
| パッキンググループ | データなし。 |
| 使用者のための特別な予防措置 | データなし。 |

IATA

| | |
|----------------|--------|
| 国連番号 | データなし。 |
| UN正式輸送品目名 | 該当せず |
| 輸送危険有害性クラス | |
| クラス(Class) | データなし。 |
| 副次危険性 | - |
| パッキンググループ | データなし。 |
| 環境有害性 | いいえ。 |
| 使用者のための特別な予防措置 | データなし。 |

IMDG

| | |
|----------------|--------|
| 国連番号 | データなし。 |
| UN正式輸送品目名 | 該当せず |
| 輸送危険有害性クラス | |
| クラス(Class) | データなし。 |
| 副次危険性 | - |
| パッキンググループ | データなし。 |
| 輸送危険有害性クラス | |
| 海洋汚染物質 | いいえ。 |
| EmS | データなし。 |
| 使用者のための特別な予防措置 | データなし。 |

ADR

| | |
|----------------|--------|
| 国連番号 | データなし。 |
| UN正式輸送品目名 | 該当せず |
| 輸送危険有害性クラス | |
| クラス(Class) | データなし。 |
| 副次危険性 | - |
| 有害No.(ADR) | データなし。 |
| トンネル規制コード | データなし。 |
| パッキンググループ | データなし。 |
| 環境有害性 | いいえ。 |
| 使用者のための特別な予防措置 | データなし。 |

詳細情報

米国 DOT、IATA、ADR、IMDG、RID では、危険物として規定されていません。

大量輸送の場合は、MARPOL 73/78 附属書 II および次の IBC コードに準拠: 該当なし。

15. 規制情報

労働安全衛生法

通知対象物

該当せず。

表示対象物

該当せず。

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

該当せず。

届出不要物質

該当せず。

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

消防法

消防法の危険物に該当しない。

船舶安全法・危規則

該当せず。

航空法・施行規則

該当せず。

火薬類取締法

該当せず。

規制情報

このHP 製品に含まれるすべての化学物質は、以下の国々における化学物質管理法の下で審査を受けたか、または通知を免除される：米国 (TSCA)、EU (EINECS/ELINCS)、スイス、カナダ (DSL/NDL)、オーストラリア、日本、フィリピン、韓国、ニュージーランドおよび中国

16. その他の情報

この安全データシートのドキュメントはHPの顧客に無料で提供されています。データは、このドキュメントが作成された時点でHPが知りうる中で最新のものであり、かつ正確なものであると考えられています。これは製品の特定のプロパティを保証するものとして受け取られるべきでなく、また特定の用途に適していると受け取られるべきでもありません。このドキュメントは、上記セクション1で指定された司法管轄権の要件に対して作成されたものであり、他の国々における規制上の要件を満たしているわけではありません。

この安全性データシートは、HP純正のインク (トナー) サプライ品で提供されるHPインク (トナー) に関する情報を通知するために作成されています。当社の安全性データシートが、再充填品、再製造品、互換製品、その他のHP純正でないサプライ品に同梱されている場合、本書の情報は、そのような製品に関する情報を伝えるためのものではなく、本書の情報と購入された製品に関する情報には大きな差異があることにご注意ください。個人用保護具、曝露リスク、安全な取り扱いに関するガイダンスなどの該当する情報については、再充填品、再製造品、互換サプライ品の販売者にお問い合わせください。HPは、当社のリサイクルプログラムにおいて、再充填品、再製造品、互換サプライ品を受け入れません。

改訂情報

1. 化学物質等及び会社情報：その他の商標名
危険有害性の要約: その他の情報
組成、成分情報: 成分
組成、成分情報: 組成コメント
有害性情報: 生殖力

略語の説明

| | |
|-----------|--|
| ACGIH | 米国産業衛生専門家会議(American Conference of Governmental Industrial Hygienists) |
| CAS | ケミカル・アブストラクト・サービス |
| CERCLA | 包括的環境対応補償責任法 |
| CFR | 連邦規制基準 |
| COC | クリーブランド開放式 |
| DOT | (米)運輸省、DOT |
| EPCRA | 緊急計画・地域社会の知る権利法 |
| IARC | 国際がん研究機関 |
| NIOSH | 国立労働安全衛生研究所 |
| NTP | 国家毒性プログラム |
| OSHA | 労働安全衛生局 |
| PEL | 許容暴露限界 |
| RCRA | 米)資源保護回収法 |
| REC | 推奨 |
| REL | 推奨暴露限界 |
| SARA | スーパーファンド改正・再承認法 |
| STEL | 短期暴露限界 |
| TCLP: <値> | 有害物質の溶出毒性試験法 |
| 管理濃度 | しきい値限界値 |
| TSCA | 有害物質規制法 |
| VOC | 揮発性有機化合物 |